

令和7年度 遠野市緑化祭「里山フェスタ 2025」

令和7年6月14日（土）遠野市宮守町「銀河の森総合運動公園」で「里山フェスタ 2025」が開催されました。

開会は、主催者である遠野市長、来賓を代表して萩野県議会議員、小友愛護少年団代表児童が元気よく宣誓し、7つの愛護少年団、郷土芸能保存会、一般市民約400名が13班に分かれ2082本のカラマツ、ヤマナラシの苗木を植樹しました。



開会式後、支署職員は1班から5班の愛護少年団の植樹指導を行いました。

慣れない鍬を持ち、根や石がある中を悪戦苦闘しながらも、大粒の汗を流し一生懸命に苗木を植えていました。



その後は、森林組合による高性能林業機械の実演、記念植樹、記念標柱建立を行い、参加者全員で記念写真を撮りました。

閉会式では、閉会の言葉を支署長が行い「森林を育てることは、豊かな水をはぐくみ、空気の浄化や地球温暖化防止、近年増加している大雨による土砂災害防止など私たちの生活に欠かせない働きをしています。今日植樹した苗木が大きく育ち、豊かな自然環境づくりにつながることを期待します。」と話し閉会しました。



（報告：森林技術指導官）